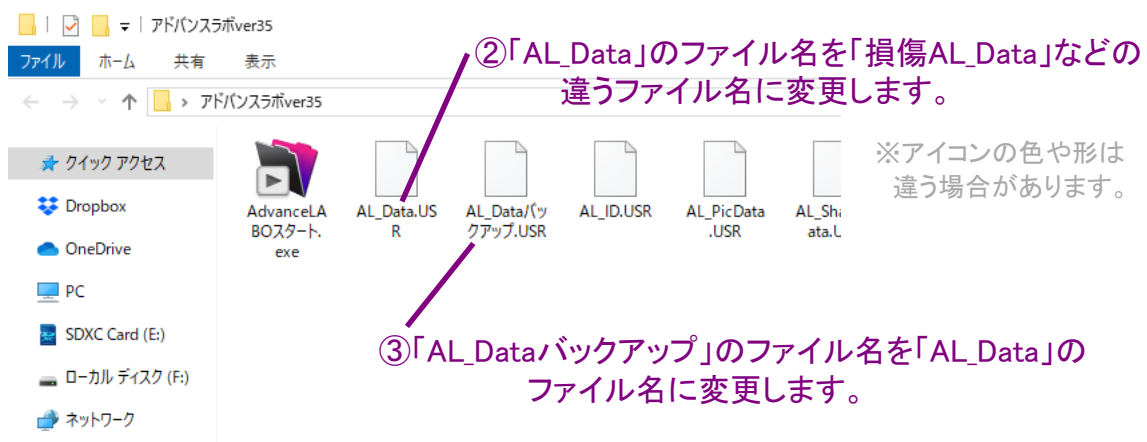


## アドバンスラボのバックアップからの回復方法

アドバンスラボでは日々入力したデータを「AL\_Data」のファイルに保存していきます。アドバンスラボ終了時に「バックアップ」ボタンを押すとアドバンスラボフォルダ内に「AL\_Data」の複製を作成して「AL\_Data/バックアップ」のファイル名で保存するようになっております。バックアップボタンを押すたびに上書き保存されます。

アドバンスラボをご利用中にパソコンやOSが不安定になって「データが損傷した」等のメッセージが出た場合はアドバンスラボを終了した状態で以下のようにファイル名を変更することでバックアップから回復できます。

### ①アドバンスラボは終了した状態にします。



### ④アドバンスラボを起動して、データに問題がないかを確認します。 データはバックアップ時点に戻りますので、その後に入力したデータがある場合は再度入力してください。問題なく回復できた場合は「損傷AL\_Data」のファイルは削除して構いません。

上記はWindowsのアドバンスラボver3.5での回復方法ですが、MacOSX版も同様の方法で回復できます。尚、拡張子は「.USR」、「.fp7」、「.fmp12」などですが、拡張子の名称やドットは変更しないようご注意ください。ドットを消してしまったり、スペースなどがファイル名に入って違うファイル名となった場合は起動できなくなってしまうますが、正しい名称に修正することで起動できます。

※アドバンスラボのWindows版の旧バージョンでは「バックアップ」のフォルダ内に複製を保存しておりましたが、MacOSX版と同様にアドバンスラボのフォルダ内に複製を保存するよう設計変更となっております。

損傷具合が大きく、バックアップから回復したファイルも損傷して、起動出来ない場合は有償となりますが、弊社にデータを転送いただければ損傷したデータ自体を修復作業で回復できる場合がございます。詳しくは下記サイトをご確認ください。  
(アドバンスラボのデータの修復作業はお客様では出来ません)

<アドバンスラボデータ転送方法> <http://www.fti.ne.jp/advance/tensou.html>

ご不明な点がございましたらメールにてお問い合わせください。 [fttech@fti.ne.jp](mailto:fttech@fti.ne.jp)